

● Photo sketch ●



8/20 大規模災害時に備えて

岐阜県LPガス協会土岐支部の山田泰徳地区長をはじめ、役員3名が市役所に来庁され、「プロパンガス燃料発電機」と「LPガス炊き出しセット」を寄贈いただきました。

山田地区長は、「災害時において、LPガスは、早期に復旧できるライフラインです。この資機材とLPガスで、温かい食べ物や電気などを市民の皆さんに、届けることができます。今後高い確率で発生するといわれている巨大地震に備え、活用していただきたい。」と語られました。



8/31 科学の力を体感

創立30周年（土岐市移転22周年）を迎えた核融合科学研究所で開かれた「科学体験パワーアップ講座」に市内外の小学5・6年生の児童24人が参加しました。

児童らは、プログラミングと超伝導を学ぶ講座に分かれて体験。パソコンで飛行方向の指示をプログラミングして自分の思った通りにドローンを飛ばしたり、金属を低温にすることで電気抵抗がなくなる超伝導の原理を使った手のひらサイズのモーターカーを走らせたりしました。



9/7 いつまでもお元気で

敬老会がセラトピア土岐で開かれ、この日は、市内で満90歳を迎える287人のうち69人が参加し、参加者を代表して妻木町在住の黒田和彦さんが、「人生100年時代、これからも、緑豊かなふるさと土岐市で、余生をあるがまま、安らかな日々を過ごしていきたい。」とあいさつされました。

余興では、舞踏ゆきこま会によるダンス、土岐少年少女合唱団による合唱に、手拍子を打ったり、歌を口ずさんだりするなど、和やかなひとときを楽しみました。



9/8 いざという時のために学ぼう

土岐津公民館で「第8回土岐津町防災フェスタ」が開催され、地域住民など約400人が参加しました。

土岐津町防災士会のメンバー、市消防職員、地元消防団員に加え、ボランティア団体、土岐津中学校の生徒が運営に当たりました。非常時でのトイレの使い方、AEDを使った心肺蘇生や非常食の試食など、充実したコーナーに参加者は、「災害が起きる前に対応を学ぶことが、自分自身の命、みんなの命を守ることにつながる」と話してくれました。

9/15 市総体 カヌー・水泳の結果

市民総合体育大会夏季大会のカヌー競技が1日・土岐川で、水泳競技が15日・コマスイミングスクール土岐で開催され、各町の代表選手約120人が熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

- <カヌー> ①泉町 ②妻木町 ③肥田町 ④駄知町
<水泳> ①泉町 ②駄知町 ③曾木町 ④土岐津町
⑤妻木町 ⑥肥田町



9/7 緑の中でふれあい

今年で40回目を迎える陶史の森まつりが開催され、天候にも恵まれ、大勢の家族連れでにぎわいました。

今年は、40周年事業として、例年の事業に加え、キジの放鳥、乗馬体験が行われ、乗馬を体験した小さな子供たちは、最初は、恐る恐る馬にまたがっていましたが、慣れてくると、まさに「人馬一体」となり、笑顔いっぱいになりました。

また、真夏を思わせる気温に、かき氷の前に行列が出来上がりました。

